

大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立豊中高等学校
校長名	湯峯 郁子

開催日時	令和 7年 2月 25日(火) 15:30~17:00
開催場所	大阪府立豊中高等学校 校長室
出席者(委員)	木原俊行委員、中西正人委員、浅田勝利委員、田中明美委員、舛井守委員
出席者(学校)	湯峯郁子校長、山下尚紀教頭、橋本知幸事務長 志方洋介首席、川口峰広首席
傍聴者	無し
協議資料	令和6年度第2回学校運営協議会 議事録 令和6年度学校経営計画及び学校評価 令和7年度学校経営計画(案) 令和6年度学校教育自己診断集計結果(生徒、保護者、教職員)
備考	

議題等(次第順)

- 1 校長挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 前回議事録の確認
- 4 報告・協議
  - (1) 令和6年度学校経営計画の進捗状況および自己評価案について
    - ・学校教育自己診断の結果について
    - ・令和6年度学校経営計画事故評価案について
  - (2) 令和7年度学校経営計画案について
- 4 提言(意見のまとめ)
- 5 事務連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<令和6年度学校経営計画の進捗状況および自己評価案について>  
 (委員)生徒の「教育相談」に関する数値について、他が90%ほどある中で、70%と特に低い。  
 (回答)2年生が低い傾向がある。学年での経過としても2年生で一度下がる傾向がある。原因の分析はできていない。  
 (委員)全体に2年生で低くなることについて、原因のようなものはあるか。  
 (回答)今の2年生が特に気力がない、とは感じない。アンケート実施のタイミングが課題研究で苦しんでいる時期と重なった。  
 (委員)教職員の「学校は到達度の低い生徒に対する学習指導を課題として取り組んでいる。」について、数値からは教員が学習到達度の低い生徒に関心が保たれていることがわかる。教員の良識として大切な点といえる。  
 (委員)生徒の「自宅等で、学習する習慣ができています。」について、1・2年で30%近くが否定的回答であるが3年生になると急に否定的回答は減る。高校3年生で急に学習できるようになる理由は何か。  
 (回答)3年生では大学受験のため上がっていると思われる。1年生で6割ということは問題。3年生で急にやらねば、となるよりも、1、2年生からしっかりと取り組めるように指導が必要である。  
 (委員)課題研究発表会を見せてもらい、生徒の頑張りを実感した。生徒の「課題研究や校外でのフィールドワークや研修旅行などは広義の学力育成に役立っている。」の肯定率が伸びている。「当てはまる」の数値が伸びているのがよい。  
 (回答)今年度「学力育成に」を「広義の学力育成に」と「広義の」を付け加えた。「広義の」と入れることで、学習指導要領の内容にも沿ったものであると考えた  
 (委員)教職員の「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」が低いが、アンケートの実施時期はいつか。学校運営協議会の議事録は教職員に共有しているか。  
 (回答)10月に実施した。また議事録は職員会議にて共有している。  
 (委員)生徒の「本を借りて読んだり、調べ学習や自習をしったりして図書館利用している」について、図書館利用が低い。30%よりもさらに低い数値もある。  
 (回答)chromebookの利用が増えているので、調べもののために利用は減少しているかもしれない。  
 <令和7年度学校経営計画案について>  
 (委員)地域の学校や活動へ、頻りに足を運んでいただけるとはとても有り難い。私学は一生懸命に行うが、公立学校は行っていない印象がある。志願者数が多い中でも、学校のアピールに現時点で取り組んでいることは大切である。小学校にまで足を運んでもらえるのは地域連携の観点からも非常にありがたい。  
 (委員)令和7年度学校経営計画案について、目標設定の数値が甘ければ結果が事実を反映させないものとなってしまうし、その逆は学校は苦しらせる。  
 (回答)「めざす学校像」スクールミッションをそのまま持ってきた。1、2についてはスクールポリシーやカリキュラム観点を加えた。「豊高教科スタンダード」の策定を次年度作りたい。課題研究の取り組みはSSHIV期が通るかどうかに関わらず学校全体で取り組めるようにしたい。  
 (委員)「豊高教科スタンダード」について、学年ごと、教科ごとのイメージがわからないが、校内で作成チームを作るのか。また、府立学校全体でこのような流れがあるのか。  
 (回答)GLHSで10年ほど前から作成する傾向にある。学校として学年ごとの道筋を作る。教科ごとに作成してもらう予定である。  
 (委員)能勢分校について、豊高の分校として残せたことはいいこと。但し、現在も志願者状況は非常に厳しい。豊高ブランドを能勢分校に取り入れ、それを活かして志願者を増やせないか。  
 (校長)准校長とも相談をしている。現准校長は豊高ブランドを取り入れてきている自負をお持ちである。校長・准校長とでは具体的な案がでなかったもので、案をいただければ嬉しい。  
 (まとめ)  
 スクールポリシー、スクールミッションから組み立てるのは良いことである。

次回の会議日程

日時	令和7年2月17日(月)15:30~17:00
会場	大阪府立豊中高等学校 校長室